

別 紙

公開概要書

受付日	令和 6 年 7 月 31 日	回答日	令和 6 年 8 月 26 日	担当課	連携のまちづくり 推進課
意見等の内容	私は、長い間交通関係のボランティア活動をやってきた。地域、町内でも交通事故を無くすため、高齢者等で事故を起こす前に免許証の自主返納を進める活動もしてきた。 私も 84 歳を過ぎ、事故を起こす前に免許証の自主返納をしようと思い 6 月に返納した。返納して 2 か月がたったが、今になって考えると返納するのではなかったと思うようになった。理由は交通の不便さである。 私も月に 3, 4 回病院へ通っているが、交通の便は悪いし生活バス等もなく、今は自転車を買って通院している。今思うと、高齢者の事故を少なくするためと思って自主返納をしたのに、自転車の方が危ないのではと思うようになった。バスにしても、バス停までと降りてから目的地までの不便さがあり、その点タクシーなら便利だと思う。 免許証の自主返納者、高齢者ぐらひは、タクシー代半額か無料になる政策を市が助成金を出してでもやっていただきたい。 今日では、国、県、市は、子供に対しては本気で取組んでいるが、もっと高齢者の日常生活の事を考えてほしい。 議員の皆さんも、市民や地域住民の皆さんの声を聞き政策に反映さすのも役目ではないか。議会でも徹底して高齢者のための政策もご議論してほしい。そして議論した結果、金がないから助成金はできないというなら、議員定数を 5 人～10 人削減すれば財源はできる。益田市も真剣に高齢者の日常の生活を守る対策に取り組んでほしい。				
回答の内容	現在の地域交通につきましては、地域によっては交通機関が利用しづらい状況もあり、そのことも利用促進や運転免許の自主返納が進まない要因のひとつであると考えております。 そうしたことから、本年度においては生活交通の改善に向け、乗合タクシー等の見直しを行っているところです。 また、ご提案いただきました運賃助成等につきましては、まずは、民間の路線バス事業者がおこなっている運転免許自主返納者を対象とした運賃半額等のサービスを、市民の方がご利用いただけるよう周知してまいります。また、市としましては、一定の要件に該当する高齢者及び障がい者を対象としたタクシー助成等を行うことで、市民の皆様にとって、少しでも利用しやすい交通体系の構築を目指してまいります。				